

2016 年度(平成 28 年度)
事業報告書



特定非営利活動法人 日本クリニクラウン協会

2016年事業報告書 目次

<事業の実施方針>	
I. 会員数	1p
II. 事業の実施に関する事項	1p
1. 特定非営利活動に係る事業	1p
(1) クリニクラウン養成事業	1p
①新規クリニクラウン候補生募集事業(2016年度研修生の募集)	1p
A. エントリー募集	
B. 選考会ガイダンス	
C. 選考会	
D. 選考会合格者面談	
②新規クリニクラウン養成事業(2016年度研修生対象)	2p
A. 養成トレーニング	
B. 臨床研修会	
C. 病院での臨床研修	
D. フォロー研修(臨床研修生対象)	
E. クリニクラウン認定試験	
G. 身体表現基礎トレーニング	
③クリニクラウン研修事業	5p
A. クリニクラウン研修	
B. 選択研修	
C. クリニクラウントレーニング(自主練習)	
D. クリニクラウンへの外部研修補助	
(2) クリニクラウン派遣事業	6p
①クリニクラウン病院派遣	6p
A. クリニクラウン定期訪問事業	
B. スポット訪問病院	
C. デモンストレーション訪問事業	
D. クリニクラウン東北支援事業	
E. 熊本支援事業	
(3) クリニクラウンに関する啓発活動	9p
①協会主催の啓発活動	9p
A. 子ども理解講座	
B. クラウンケーションワークショップ	
C. チャリティイベント「RED NOSE DAY」の実施	
D. ボランティア育成	
②対外的な啓発活動	11p
A. 講演会・ワークショップ・報告会など	
B. メディアなどへの取材協力	
③その他啓発事業	13p
A. 情報発信事業	
B. 企業・団体との協力事業	
(4) その他第3条の目的を達成するために必要な事業	15p
2. その他の事業	15p
(1) 文化芸術コンサート、観劇会、イベントの開催	15p
III. 社員総会の開催	16p

2016 年度事業報告書

作成日 2017 年 5 月 8 日

＜事業の実施方針＞

クリニックラウン養成事業を重点課題とし、新規クリニックラウンを育成することで、多くの入院中の子どもたちにこども時間を届け、クリニックラウン派遣事業の充実を目指し、療養中の子どものQOL向上を目指す。クリニックラウンの専門性をさらに高め、多様なニーズに対応できるようにする。また啓発・広報活動の推進と国際交流にも取り組み、事業規模に見合う事務局体制とスタッフの育成を行い、組織基盤の強化を目指す。また認定 NPO 法人取得申請を行い、2016 年 11 月 29 日に取得することができた。

I. 会員数(2017 年 3 月 31 日現在)

会員の種別	2016 年度
正会員	14
活動会員(個人)	75
活動会員(団体)	1
賛助会員(個人)	88
賛助会員(団体)	6



II. 事業の実施に関する事項

1. 特定非営利活動に係る事業

(1) クリニックラウン養成事業 ※最重点課題事業

「①新規クリニックラウン候補生募集事業(2016 年度研修生の募集)」と、「②新規クリニックラウン養成事業(2015 年度認定クリニックラウン、2016 年度研修生合同)」 「③クリニックラウン研修事業」の3つの事業を行った。

① 新規クリニックラウン候補生募集事業(2016年度研修生の募集)

クリニックラウンの派遣活動の充実することを目的に「新規クリニックラウン候補生募集事業(2016 年度研修生の募集)」を行った。2016 年度は、1 月～4 月まで「A. エントリー募集」を行い、「B. 選考会ガイダンス」と「C. 選考会」「D. 合格者面談」を行なった。

A. エントリー募集

エントリー期間:2016 年 1 月 26 日～2016 年 4 月 23 日

方法:協会ホームページにてエントリーシートを公開。会員、NPO 中間支援組織等への募集チラシの送付、新聞へのプレスリリースを行った。

エントリー者数:12 名(選考会辞退者 4 名)

B. 選考会ガイダンス

大阪で 1 回実施した。選考会についての説明会や質疑応答、体験トレーニングのワークショップなどを行った。選考会ガイダンスを受講すること、応募書類の提出を選考会への参加の条件とした。

開催日時	開催場所	参加者数
4 月 16 日(土)13 時 30 分～16 時	京都労働者総合会館 ラポール京都	12 名
4 月 23 日(土)10 時～12 時 30 分	協会事務所/モラッキー道場・末広	9 名

C. 選考会

大阪にて実施し、2016 年度研修生を選出した。選考の結果、合格者は 5 名となった。

開催日程	開催場所	(人数)	参加者	合格者
5 月 7 日(土)10 時～17 時	大阪府赤十字血液センター	5 名	8 名	5 名

D.選考会合格者面談

選考会の合格者 5 名に対し、次年度の研修日程などの連絡や現状のヒアリングなど個人面談を行った。

開催日程	開催場所	対象者
5月8日(日)	協会事務所	5名

②新規クリニクラウン養成事業（2016年度研修生対象）（日本財団からの助成事業）

新規クリニクラウンを養成するため、2016年度研修生と2015年度の認定クリニクラウンを対象とした「A.養成トレーニング」「B.臨床研修会」「C.病院での臨床研修」「D.フォロー研修(臨床研修生対象)」「E.クリニクラウン認定試験」を行った。

A.養成トレーニング

2016年度研修生を対象とした養成トレーニングを大阪市内の会場で7回実施した。7月23日、24日には臨床研修に向けての審査を行い、3名が合格となり臨床研修生としての研修に進んだ。また、クリニクラウンが研修の進行などを担当することで自らのスキルアップを図った。

●養成トレーニング日程表

	日時・場所	内容	スタッフ人数	参加者
1	5月21日(土)10時～17時 モラッキー道場・末広	トレーニングの概要説明・自由表現	9名	8名
2	5月28日(土)10時～17時 モラッキー道場・末広	表現する身体・感情表現について／衣裳について	10名	8名
3	6月4日(土)10時～17時 大阪府赤十字血液センター	表現する身体(感情表現・声の活用)／コミカルな表現／ 古典的にコメディを学ぶ	11名	6名
4	6月25日(土)10時～17時 PLP会館	表現する身体・感情表現／コミカルな表現／ 古典的にコメディを学ぶ	8名	8名
5	7月16日(土)10時～17時 モラッキー道場・末広	状況判断と距離感／即興力、表現力を高める／ ペアのコンビネーション	9名	7名
6	7月23日(土)10時～17時 大阪府赤十字血液センター	臨床研修に向けての審査	6名	7名
7	7月24日(日)10時～17時 大阪府赤十字血液センター	個人面談・審査結果発表	8名	8名

B.臨床研修会

臨床研修に進む4名に向け、主に病院訪問をイメージした実践的な研修を4回行った。(臨床研修生4名のうち1名は8月に辞退の申し出があった。)

●臨床研修(臨床研修生対象)

	日程	内容	スタッフ人数	参加者
1	8月13日(土)10時～17時 モラッキー道場・末広	講師レクチャー「入院中の家族の気持ち」 講師：森下左文(理事/がんの子どもを守る会理事) 基礎トレーニング/ペアでのコンビネーション/廊下移動/ 道具の活用	7名	4名
2	8月19日(金)10時～17時 モラッキー道場・末広	基礎トレーニング/訪問病院の特徴、臨床研修についての説明 など/衣裳・道具について/ロールプレイ	9名	3名
3	8月20日(土)10時～17時 モラッキー道場・末広	基礎トレーニング 衛生面の配慮について/ペアでのコンビネーション/廊下移動/ 病室への入退出/衣裳について/ロールプレイ	7名	3名
4	9月3日(土)10時～17時 モラッキー道場・末広	養成基礎トレーニング/ペアでのコンビネーション/廊下移動/ ロールプレイ	8名	3名

C.病院での臨床研修

病院での臨床研修は、養成担当者の指導のもと、クリニックラウンと臨床研修生が2人1組で病院訪問を行った。その後臨床研修生同士でペアを組み、養成担当者の指導のもと、病院訪問を行った。

●病院での臨床研修実施日

実施日	臨床研修病院	臨床研修生	訪問 CC	同行
2016年9月21日(水)	大阪大学医学部附属病院	3名	3名	1名
9月28日(水)	大阪府立母子保健総合医療センター	2名	2名	2名
9月29日(木)	京都府立医科大学医学部附属病院	1名	3名	2名
10月6日(木)	兵庫県立こども病院	2名	2名	2名
10月12日(水)	大阪府立母子保健総合医療センター	1名	3名	1名
10月13日(木)	京都府立医科大学医学部附属病院	1名	3名	3名
10月19日(水)	大阪大学医学部附属病院	2名	2名	2名
10月26日(水)	大阪府立母子保健総合医療センター	1名	3名	1名
11月9日(水)	大阪府立母子保健総合医療センター	1名	3名	1名
11月10日(木)	京都府立医科大学医学部附属病院	2名	2名	2名
11月24日(木)	兵庫県立こども病院	1名	3名	2名
11月30日(水)	大阪府立母子保健総合医療センター	1名	3名	1名
12月8日(木)	京都府立医科大学医学部附属病院	2名	2名	2名
12月14日(水)	大阪府立母子保健総合医療センター	1名	3名	2名
2017年1月5日(木)	兵庫県立こども病院	2名	2名	2名
1月11日(水)	大阪府立母子保健総合医療センター	1名	3名	1名
1月12日(木)	京都府立医科大学医学部附属病院	2名	2名	2名
1月25日(水)	大阪府立母子保健総合医療センター	1名	3名	1名
2月2日(木)	兵庫県立こども病院	2名	2名	2名
2月8日(水)	大阪府立母子保健総合医療センター	1名	3名	2名
2月9日(火)	京都府立医科大学医学部附属病院	1名	3名	3名
3月22日(水)	大阪府立母子保健総合医療センター	1名	1名	1名

D.フォロー研修(臨床研修生対象)

臨床研修での課題解決のための、フォロー研修を8回行なった。

	日時・会場	内容	スタッフ	参加者
1	10月1日(土)10時~17時 MORACY道場・末広	病院訪問での課題解決のためのトレーニング 病院訪問の感想と今後の課題のシェア	8名	3名
2	10月15日(土)10時~17時 MORACY道場・末広	病院訪問での課題解決のためのトレーニング ロールプレイ	9名	3名
3	11月5日(土)13時~17時 MORACY道場・末広	外部講師を招いてのクラウントレーニング(声の活用、ジブリッシュ)	※17名	2名
4	11月12日(土)10時~17時 MORACY道場・末広	病院訪問での課題解決のためのトレーニング 1月からの1年目CCとのペア訪問に向けてのトレーニング。	9名	3名
5	12月3日(土)10時~17時 天しもビル 7F/MORACY道場・末広	病院訪問での課題解決のためのトレーニング ペアの強化とロールプレイ	9名	3名
6	12月17日(土)10時~17時	病院訪問での課題解決のためのトレーニング ペアの強化とロールプレイ/認定試験についての説明。	12名	3名
7	1月7日(土)10時~17時	カンファレンスのためのトレーニング。感染対策に特化したロールプレイ。	1名	3名
8	1月21日(土)10時~17時	病院訪問での課題解決のためのトレーニング ロールプレイ 面談を実施して個人の課題を伝える。	9名	3名

※外部講師3名を含む。

E. クリニクラウン認定試験

病院での臨床研修を終えた2016年度臨床研修生を対象に、クリニクラウン認定試験を行った。これまでの現場での臨床活動から総合的に判断し、1名が認定される。残り1名は欠席した1名と共に後日追試を行うこととなった。

日時・場所	スタッフ	受験者	認定者
2月11日(土) 13時～16時 / 大阪府赤十字血液センター	10名	2名	1名

1名体調不良のため欠席。

●クリニクラウン認定試験(追試)

クリニクラウンとしての自由表現やプレゼンテーションとこれまでの病院での臨床研修の様子を加味して総合的に判断し、2名を3月24日付で追加認定した。

日時・場所	スタッフ	受験者	認定者
3月24日(金) 9時～12時 / 協会事務局	4名	2名	2名

●チーム会議日程

新規クリニクラウン養成事業は、トレーナー、事務局スタッフとチーム会議を行い、研修内容についての振り返りや研修生の課題について話し合い、課題解決のために研修プログラムの作成を行う

回	日程	時間	内容	人数
1	2016年5月20日(金)	9時～18時のうち5時間	養成トレーニング①プログラム作成と報告	2名
2	5月24日(火)	9時～18時のうち5時間	養成トレーニング②プログラム作成と報告	2名
3	6月10日(金)	9時～18時のうち5時間	養成トレーニング③プログラム作成と報告	2名
4	6月24日(金)	9時～18時のうち5時間	養成トレーニング④プログラム作成と報告	2名
5	7月1日(金)	9時～18時のうち5時間	養成トレーニング⑤プログラム作成と報告	3名
6	7月22日(金)	9時～18時のうち5時間	養成トレーニング⑥プログラム作成と報告	2名
7	8月12日(金)	9時～18時のうち5時間	臨床研修会①プログラム作成と報告	2名
8	8月15日(月)	9時～18時のうち5時間	臨床研修会②③プログラム作成と報告	2名
9	8月23日(月)	9時～18時のうち5時間	臨床研修会④プログラム作成と報告	3名
10	9月27日(火)	9時～18時のうち5時間	フォロー研修①プログラム作成と報告	3名
11	10月14日(金)	9時～18時のうち5時間	フォロー研修②プログラム作成と報告	3名
12	10月21日(金)	9時～18時のうち5時間	フォロー研修③プログラム作成と今後の活動	2名
13	10月25日(火)	9時～18時のうち5時間	フォロー研修③プログラム作成と今後の活動	2名
14	11月4日(金)	9時～18時のうち5時間	フォロー研修③プログラム作成と報告	3名
15	11月18日(金)	9時～18時のうち5時間	フォロー研修④プログラム作成と報告	3名
16	11月29日(火)	9時～18時のうち5時間	フォロー研修⑤プログラム作成と報告	3名
17	12月9日(金)	9時～18時のうち5時間	フォロー研修⑥プログラム作成と報告	3名
18	12月20日(火)	9時～18時のうち5時間	フォロー研修⑦プログラム作成と報告	3名
19	2017年1月13日(金)	9時～18時のうち5時間	フォロー研修⑧プログラム作成と報告	3名
20	1月24日(火)	9時～18時のうち5時間	認定試験計画と報告	3名
21	2月10日(金)	9時～18時のうち5時間	認定試験準備と報告	3名
22	2月24日(金)	9時～18時のうち5時間	CC研修プログラム作成と報告	3名

G. 身体表現基礎トレーニング

研修生や希望 CC を対象とした身体表現基礎トレーニングを行う。

	日時 会場	内容	スタッフ	参加者（臨床研修生・希望 CC）
1	2016年6月10日（金）10時～13時 MORACY道場・末広	身体表現基礎①	2名	8名
2	8月14日（日）10時～16時 MORACY道場・末広	身体表現基礎②	2名	3名
3	9月17日（土）10時～16時 MORACY道場・末広	身体表現基礎③	2名	7名

③クリニクラウン研修事業

認定クリニクラウンを対象とした研修を行う。

A. クリニクラウン研修

小児病棟における療育環境の改善も視野に入れた視点と医療スタッフとのさらなる協働を目指して、認定クリニクラウンのコミュニケーション力を向上させる目的で研修を行う。クリニクラウン研修を欠席した場合は、別途事務局と日程を調整し研修を受けることを必須とする。

●クリニクラウン研修日程表

回	日時 会場	内容	参加者
1	2016年4月28日（木）10時～17時 MORACY道場・末広	病院についての情報整理と病院ごとの留意点確認	24名
2	5月14日（土）10時～16時 MORACY道場・末広	CCの交流を図る／パーティ企画	19名
3	5月26日（木）10時～17時 MORACY道場・末広	外部講師 （クラウンの歴史 クラウンの表現）	20名
4	5月27日（金）10時～17時 MORACY道場・末広	外部講師 （クラウンの表現 ペアでの動き）	21名
5	10月27日（木）10時～18時 事務局	解析発表	20名
6	2017年2月25日（土）10時～17時 事務局、MORACY道場・末広	新規CCとの交流・即興力強化研修	16名
7	3月23日（木）10時～17時 事務局、スタジオ	ペアリング強化研修	16名

B. 選択研修

より専門性を高めることを目的としてクリニクラウンの選択研修を実施する。

●選択研修日程表

回	日時 会場	内容	参加者
1	2016年4月23日（土）11時～12時30分 事務局	【選択研修】 新規クリニクラウン説明会	10名
2	4月23日（土）14時～17時 MORACY道場・末広	【選択研修】5年未満のクリニクラウン 対象（ペアリング強化）	20名
3	4月29日（金・祝）10時～17時 大阪府赤十字血液センター	【選択研修】クラウンコミュニケーションワーク ショップ講師研修	16名
4	6月6日（月）14時～21時 MORACY道場・末広	【選択研修】クラウンコミュニケーションワーク ショップ講師研修	11名
5	7月15日（金）10時～17時 事務局	【選択研修】重度心身障害を持つ子ども のかかわりについて	13名

6	8月11日(木)10時～17時 事務局	【選択研修】デモンストレーション訪問 について	10名
7	9月22日(木・祝)10時～17時 MORACY道場・末広	【選択研修】小道具・パペットの扱い方	15名
8	2017年1月28日(土)10時～17時 鞠テニスセンター	【選択研修】超★クラウンシンキング	17名
9	3月4日(土)10時～17時 鞠テニスセンター	【選択研修】超★クラウンシンキング	18名

C. クリニクラウントレーニング(自主練習)

クリニクラウンが主体となりクリニクラウンのトレーニングを2回実施した。

	日時・場所	内容	参加者
1	2月18日 17時30分～21時30分/鶴見区民センター	現場に生かす実践的練習	6名
2	2月27日 17時30分～21時30分/福島区民センター	現場で生かす実践的練習	4名

D. クリニクラウンへの外部研修補助

認定クリニクラウンが外部の研修会や学会などへ参加した場合、交通費や研修参加費を支給した。

対象者：クリニクラウン(24名)

申請者：10名

(2)クリニクラウン派遣事業

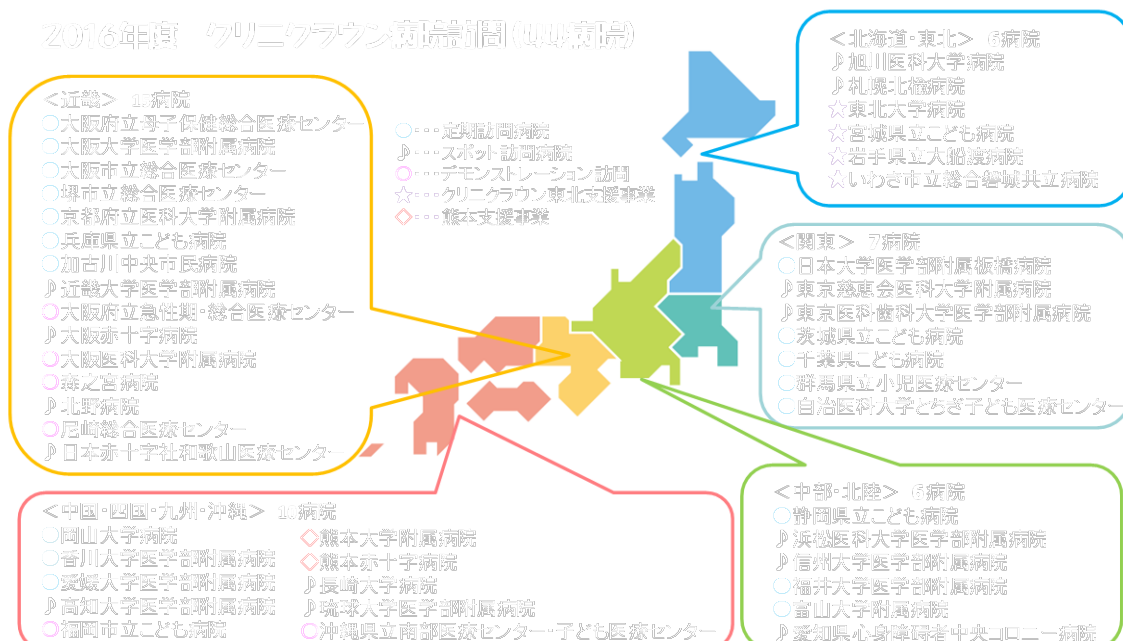
① クリニクラウン病院派遣

2016年度は以下の病院を訪問した。なお、年4回以上の訪問を定期訪問とし、過去訪問実績があり年4回未満の訪問をスポット訪問、東北支援・熊本支援訪問以外の新規の訪問をデモンストレーション訪問とした。

●2016年度派遣実績

訪問回数	263回
訪問病院数	44病院
派遣クリニクラウン数	577名
訪問によって関わった子どもの数	8447名

2016年度 ① クリニクラウン病院訪問(44病院)



●年度別派遣回数

年度	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016
訪問 病院数	3 病院	9 病院	27 病院	22 病院	22 病院	31 病院	36 病院	33 病院	34 病院	33 病院	34 病院	44 病院
訪問回数	34 回	186 回	210 回	200 回	157 回	211 回	292 回	284 回	260 回	260 回	229 回	263 回
※CC数	71 人	382 人	426 人	400 人	314 人	422 人	588 人	568 人	520 人	545 人	502 人	577 人

※2005 年度、2009 年度の啓発事業に計上されていた施設数、訪問回数も含む。

●2016 年度別派遣回数

項目	月												年間訪問 回数	CC 派遣者 数延べ
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
定期訪問病院計	18	16	18	19	16	19	18	17	18	17	17	18	211	470
スポット訪問病院		2	1	1	2	1	1	4	3	3		2	20	42
デモンストレーション訪問病院				1		1		1	1			2	6	13
クリニックラウン東北支援事業	2		2	2		2	1	3		2	2	3	19	38
熊本支援事業				2		1		1		1	1	1	7	14
派遣先合計	20	18	21	25	18	24	20	26	22	23	20	26	263	577

A. クリニックラウン定期訪問事業

西日本エリア 12 病院、東日本エリア 6 病院の計 18 病院で定期的な訪問を行った。訪問回数は合計 211 回、派遣したクリニックラウン数は、470 名になった。

【定期訪問病院】

病院名	年間 計画	月												年間 訪問 回数	派遣 者数 延べ
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
大阪府立母子保健総合医療センター	44	4	3	4	4	3	4	4	4	3	3	4	4	44	106
大阪大学医学部附属病院	12	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1		1	11※1	32
大阪府立総合医療センター	4	1			1			1			1			4	8
堺市立総合医療センター	12	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12	24
京都府立医科大学附属病院	12	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12	36
岡山大学病院	12	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12	24
加古川中央市民病院	11	1	1		1	1	1	1	1	1	1	1	1	11	22
香川大学医学部附属病院	12	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12	24
兵庫県立こども病院	11	1		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	11	30
福井大学医学部附属病院	6	1		1		1		1		1		1		6	12
富山大学附属病院	6		1		1		1		1		1		1	6	12
愛媛大学医学部附属病院	6		1		1		1		1		1		1	6	12
西日本エリア計	148	13	11	12	14	11	12	13	13	11	13	11	13	147	342
日本大学医学部附属板橋病院	7	1		1		1	1	1		1		1		7	14
茨城県立こども病院	24	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	24	48
千葉県立こども病院	12	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12	24
静岡県立こども病院	4		1		1		1			1			1	5	10
群馬県立小児医療センター	12	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12	24
自治医科大学とちぎ子ども医療センター	4			1			1			1		1		4	8
東関東エリア計	63	5	5	6	5	5	7	5	4	7	4	6	5	64	128
定期訪問先計	211	18	16	18	19	16	19	18	17	18	17	17	18	211	470

※1: インフルエンザの流行のため病棟より連絡が有、1回訪問中止

B. スポット訪問病院

スポット訪問病院(スポット訪問)は過去に訪問実績があり年間訪問回数が4回未満の病院をさす。西日本エリア10病院、東日本エリア6病院の計16病院で定期的な訪問を行った。訪問回数は合計20回、派遣したクリクラウン数は、42名になった。

病院名	年間計画	月												年間訪問回数	派遣者数延べ			
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3					
大阪府立急性期・総合医療センター	1												1			1	2	
愛知県心身障害者コロニー中央病院	1												1			1	4	
高知大学医学部附属病院	2					1									1	2	4	
大阪赤十字病院	2			1												1※1	2	
北野病院	2					1							1			2	4	
琉球大学医学部附属病院	1				1											1	2	
大阪医科大学附属病院	1												1			1	2	
長崎大学病院	1													1		1	2	
日本赤十字社和歌山医療センター	1												1			1	2	
近畿大学医学部附属病院	1												1			1	2	
西日本エリア計	13			1	1	2							3	3		2	12	26
東京医科歯科大学附属病院	3		1					1								2※2	4	
信州大学医学部附属病院	1									1						1	2	
東京慈恵会医科大学附属病院	1									1						1	2	
札幌北楡病院	2		1							1						2	4	
旭川医科大学病院	1									1						1	2	
浜松医科大学医学部附属病院	1								1							1	2	
東関東エリア計	9		2					1	1	4						8	16	
スポット訪問先計	22		2	1	1	2	1	1	4	3	3		2			20	42	

※1: 病院からの希望により、2回目の訪問を来年度に延期

※2: インフルエンザ流行のため、病院からの希望により訪問を1回中止。

C. デモンストレーション訪問事業

活動を医療関係者に周知するため病棟訪問のデモンストレーションと協会のガイダンスを実施した。

●2016年度デモンストレーション訪問実績

訪問病院	4病院
訪問回数	のべ6回
派遣クリクラウン数	13名

※沖縄県立南部医療センター・こども病院は広いエリアだったので3人が入れ替わり休憩を取りながら訪問をした。

●デモンストレーション訪問先病院

病院名	回数
尼崎総合医療センター	3回
沖縄県立南部医療センター・こども医療センター	1回
森之宮病院	1回
福岡市立こども病院	1回
計	6回

D. クリニクラウン東北支援事業

東日本大震災における「クリニクラウン東北支援事業」を実施した。定期訪問先病院は、東北大学病院（宮城県仙台市）、宮城県立こども病院（宮城県仙台市）計2病院。岩手県立大船渡病院（岩手県大船渡市）、いわき市立総合磐城共立病院（福島県いわき市）への派遣も実施した。

●クリニクラウン東北支援 訪問先病院

病院名	年間訪問計画	月												年間訪問回数	CC派遣延べ人数
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
東北大学病院	6	1		1	1		1		1		1		1	7※1	14
宮城県立こども病院	7	1		1	1※2		1	1	1		1	1	1	9※3	18
岩手県立大船渡病院	2			1									1	2	4
いわき市立総合磐城共立病院	2									1				1※4	2
計		2		2	2		2	1	3		2	2	3	19	38

※1:年間予定より1回訪問数が増加

※2:宮城県立こども病院の夏祭りに協力した。

※3:宮城県立こども病院 拓桃園の開設に伴いのため病院の希望により訪問回数を2回追加した。

※4:3月の訪問延期

E. 熊本支援事業

熊本地震における熊本の支援事業を実施した。訪問先病院は、熊本大学医学部附属病院（熊本県熊本市）、熊本赤十字病院（熊本県熊本市）の2病院。

病院名	日程	実施回数	CC派遣延べ人数
熊本大学医学部附属病院 (熊本県熊本市)	第1回目 2016年7月13日(水) 第2回目 9月7日(水) 第3回目 11月16日(水) 第4回目 2017年1月18日(水) 第5回目 2月22日(水) 第6回目 3月15日(水)	6回	12名
熊本赤十字病院(熊本県熊本市)	第1回目 2016年7月14日(木)	1回	2名
合計		計7回	14名

(3) クリニクラウンに関する啓発事業

クリニクラウンの活動を周知させ、活動の理解を深め、支援を拡大することを目的として啓発活動（協会主催の啓発活動、対外的な啓発活動とその他啓発活動）を実施する。

① 協会主催の啓発活動

A. 子ども理解講座(宮城県仙台市にて 開催)

実施日程	内容	参加人数
7月30日(土)10時~11時30分/エル・ソーラ仙台	協会の概要説明/ユ-メディアコミュニケーションのワークショップ	19名

B. クラウンケーションワークショップ

協会の活動を広く知ってもらうとともに、活動会員やボランティア活動を行う人材を募集し、協会のボランティアとして参加できるきっかけをつくる。

日時 会場	内容	参加人数
7月18日(月・祝)13時~14時30分 MORACY道場・末広	協会の概要説明 ユ-メディアコミュニケーションのワークショップ	7名

C. チャリティイベント「RED NOSE DAY」の実施

入院中の子どもを支援するチャリティーイベントとして、2016年8月7日に「RED NOSE DAY～1万人の笑顔大作戦～」を企画した。ホームページ、チラシの制作、プレスリリース等を行い、全国各地に広報を実施。開催趣旨に全国各地の人達が賛同し、このチャリティーイベントに参加した。8月7日は阪急百貨店うめだ本店にてカウントダウンイベントを実施した。また、今年から新しい試みとして(株)エキ・リテール・サービス阪急阪神様のご協力があり、阪急西宮北口 駅ナカのカリヨン広場にて啓発活動を実施した。赤鼻シールとビスコを江崎グリコ株式会社様から協賛していただいた。

実施日:2016年8月7日(日)12:00～12:01

実施場所:日本全国・世界中どこでも

実施内容:8月7日正午12時から1分間、RED NOSE(赤い鼻)をつけることをシンボルとして、日本中に笑顔のムーブメントを広げる。また、RED NOSEをつけた写真をホームページで募り、アルバムとして公開した。(写真公開参加数:84枚)

a. 当日カウントダウンイベント

主催:RED NOSE JAPAN PROJECT 実行委員会 (特活)日本クリニクラウン協会

共催:阪急百貨店うめだ本店

実施日:2016年8月7日(日)11:30～12:15

会場:阪急百貨店うめだ本店 祝祭広場

実施内容: 阪急百貨店うめだ本店の9階祝祭広場にて、チャリティーイベントとしてクリニクラウンのアトラクションをおこないカウントダウンイベントを行った。また、日本クリニクラウン協会のリーフレットとスポンジ製の赤い鼻を配り啓発活動も同時に行った。当日の会場の案内や、リーフレット、募金の呼びかけ、RED NOSEの配付などを行った。

b. 当日啓発 西宮北口お楽しみイベント

実施日:2016年8月7日(日)14:00～17:00(13:30 設営開始)

会場:阪急西宮北口カリヨン広場

実施内容:入院中の子ども達や家族に笑顔を届けるクリニクラウンの活動を知ってもらい、赤い鼻をつけて身近な人を笑顔にする“アクション”を呼び掛け、西宮北口駅から笑顔の輪を広げていく。「8月7日笑顔を贈る日」のPRを兼ねる。

D. ボランティア育成

a. RED NOSE DAYの当日イベントボランティア

①RedNose 準備会、運営ボランティア会議

ボランティアのリーダーを募集し事前に準備会を実施して当日の運営を補助して頂いた。

実施日程	内容	スタッフ	参加人数
7月11日(月)19:00～20:30	SNSの活用について、西宮北口での啓発イベントの内容について	3名	4名
7月18日(月・祝)14:30～16:00	SNSの活用について、西宮北口での啓発イベントの内容について	6名	4名

②レッドノーズディの当日ボランティア向けに活動紹介および当日ボランティアの説明などを行った。

実施日程	内容	スタッフ	参加人数
7月31日(日)10:00～12:00 協会事務局	当日ボランティア説明/ダンスレクチャー	9名	15名
8月2日(火)19:00～20:30 協会事務局	当日ボランティア説明/ダンスレクチャー	4名	14名

b. 事務局でのボランティアの受け入れなど

事務局での軽作業などのボランティアの受け入れを行なった。

実施日程	内容	スタッフ	参加者
7月31日(日)12:00～17:00 協会事務局	RED NOSE DAY 啓発事業配布物のセット作業	9名	15名

②対外的な啓発活動

A. 講演会・ワークショップ・報告会など

クリニックラウンの活動紹介及びクリニックラウンの方法論や臨床実践の成果を伝えるための講演会、養成トレーニングで培われたコミュニケーションについてのワークショップの講演の依頼を受けて、行った。また、協会の活動報告や支援者への支援報告などを行った。

対外的な啓発活動	36回
----------	-----

	主催／プログラム名	依頼内容	実施日
1	大阪ガス	寄付贈呈式・活動報告	4月19日
2	近畿ろうきん 寄付贈呈式	寄付贈呈式・活動報告	5月25日
3	日本財団 難病の子どもと家族を支えるプログラム	活動報告・団体ネットワーク会議	5月25日
4	大阪大学人間科学部市民活動論	活動紹介	6月9日
5	西宮キワニスクラブ 贈呈式	寄付贈呈式	6月18日
6	四国医療専門学校 60周年記念「健康と長生きまつり」	講演会	7月3日
7	社会福祉圏交流集会 記念講演 福祉保育労働組合	講演会	7月10日
8	南部小児医療センター 院内研修	研修講師	7月20日
9	武田薬品工業 講演会	講演会 ワークショップ	7月25日
10	阪急百貨店 H2Oサンタ NPOフェスタ	活動紹介 活動紹介ブース	8月20日～ 22日
11	オーガビッツ スウィート・ラヴ・シャワー	活動紹介	8月26日～ 28日
12	orgabits 感謝の会	交流会	8月29日
13	大阪市生涯学習まちづくり市民大学 公開セミナー 「お金の流れが社会をかえる」	近畿ろうきん支援先として、 活動紹介	8月27日
14	阪急阪神ホールディングス株式会社	助成報告会	9月6日
15	サンワサプライ株式会社	贈呈式	9月7日
16	近畿労働金庫労働組合 第22回定期大会	活動紹介	9月10日
17	えほんpicnic2016	ワークショップ	10月1日
18	第55回富山県小児保健学会	基調講演	10月2日
19	栃木医療センター附属看護学校 創立70周年記念講演	講演会	10月7日
20	ソーシャル・ポスター展 贈呈式	贈呈式	11月11日
21	四国医療専門学校看護学科 「笑いと医療」	講師	11月14日・ 15日
22	日本財団 「難病の子どもと家族を支えるプログラム」	活動報告、ネットワーク会議	11月16日
23	国際ソロプチミスト堺 11月例会	活動紹介	11月18日
24	Tesm あごら おんなとおとこのワイワイあごら2016 「クリニックラウンのかける笑顔の魔法」	講演会	11月19日
25	湖南・甲賀市 保育士会研修講演「クリニックラウンや入院中の子どもたちについて」	講演会	11月26日
26	第63階「大阪ガス 癒しの音楽」チャリティコンサート	活動紹介・チャリティ	12月14日
27	第27回日本小児外科QOL研究会(川崎医科大学)	共同発表(協力)	12月15日
28	第58回日本小児血液・がん学会/第14回日本小児看護学会/第21回公益財団法人がんの子どもを守る会 公開シンポジウム」	資料の積み置き	12月15日～ 17日
29	天理医療大学「小児看護学実践論Ⅲ」	講義	1月5日
30	武田製薬株式会社	講演会	1月17日
31	阪急百貨店 H2Oサンタ	活動紹介	1月21日

	チャリティイベント		
32	奈良教育大学「子どもの発達と心のケア」	講義(協力)	1月31日
33	南河内北エリア委員会	講演会、ワークショップ	2月6日
34	公益財団法人毎日新聞社会事業団「小児がん征圧基金」	贈呈式	3月6日
35	慶應ビジネススクール	講義	3月7日
36	大阪ガス 助成贈呈式	贈呈式	3月31日

B. メディアなどへの取材協力

新聞への掲載は8回、TV・ラジオ局などからの取材協力は8回番組に協力した。また、雑誌等の寄稿や取材に協力し、16誌に掲載された。

掲載新聞	8回
TV・ラジオ局	8回
掲載誌など	16誌
書籍	0冊

a. 掲載新聞

	新聞名	掲載日	内容
1	毎日新聞	2016年4月5日	入院中の子どもたちに笑顔を届ける「クリニックラウン」研修生募集記事
2	熊本日日新聞	7月16日	熊本赤十字病院訪問記事:「みんなの笑顔 見たくて」
3	沖縄タイムス	7月21日	季節風 県立南部医療セ・子ども医療セ訪問記事
4	神戸新聞	8月8日	入院中の子。赤い鼻で笑顔に (鼻の日の西宮北口イベント)
5	読売新聞	10月11日	特命記事がゆく「小児病棟 道化師の正体を追え」笑顔の薬癒しのパワー
6	朝日新聞	2017年1月25日	臨床道化師 川島由衣さん 癒しや笑い 小児病棟に届ける
7	朝日新聞	2月26日	笑顔 元気 君に届け クリニックラウン・石井さん実演
8	読売新聞	3月12日	笑いの効果 医学で検証

b. TV局・ラジオ局放送番組

	メディア	放送日	内容
1	ならどつとFM「To bridge～大きな病気と闘っている子どもたちとその家族に私たちが出来ること～」	4月1日	活動紹介
2	J-WAVE「WONDERVISION」生放送	4月10日	活動紹介
3	サラトークお仕事カフェ (ABC放送)	4月12日&19日	活動紹介
4	沖縄テレビ放送 みんなのニュース	7月20日	活動紹介
5	琉球放送 RBC ザ ニュース	7月25日	活動紹介
6	箕面FM「幸運の道しるべ」	8月7日 (7月27日収録)	活動紹介
7	J-WAVE「WONDER VISION」	12月9日	活動紹介
8	とびだせ! 夕刊探検隊 (ABC放送)	3月6日	活動紹介

c. 掲載紙など

	雑誌名・報告書・出版物	発行元	発行日など	内容
1	びりーぶ Believe	大阪赤十字病院広報	2016年春号 vol.56,p3	活動紹介
2	ABCラジオホームページ	ABCラジオ	2016/4/12、19	活動紹介・エピソード(山田)
3	ゲンゼ社内報	ゲンゼラブアース倶楽部	2016年5月	活動紹介

4	いのちの輝き	宮城県立こども病院	2016年7月	活動紹介・院長の10周年記念事業に参加しての感想
5	あとびなう 7-8月号	NPO法人日本アトピー協会	2016年7月12日	活動紹介
6	オーガビッツHPコラム	オーガビッツ	2016年9月30日	7月7日千葉県立こども病院訪問記事
7	Social Design+	マイガス大阪	2016年10月17日 ～1月10日	マイガスポイントで活動支援
8	オーガビッツHPスナップ	オーガビッツ	2016年10月27日	8月のオーガビッツ音楽フェス SweetLoveShower 協力
9	電通+日本NPOセンター共同企画「ソーシャルポスター展」	電通ソーシャル・デザイン・エンジン	2016年9月撮影 2017年展示	写真撮影協力・活動紹介
10	千葉県こども病院 看護職員募集案内	千葉県こども病院 病院広報	2016年10月 p3	CC訪問の様子の写真提供
11	とやま小児保健 第14号	富山県小児保健協会	2016年11月 vol.14 p2 6-29	第55回富山県小児保健学会での講演内容、活動紹介
12	マイプロ SHOWCASE 関西編 with 大阪ガス	大阪ガス	2016年11月30日	活動紹介エピソード熊谷
13	月刊誌「のんびる」	生協パルシステム	2017年1月	活動紹介・エピソード(大沢)
14	ゆめ・まち・みらい vol.32	阪急阪神ホールディングスグループ	2017年冬号	活動紹介
15	ABCラジオホームページ	ABCラジオ	2017年3月6日	活動紹介(石井)
16	TOKK(阪急沿線情報紙トック)	株式会社阪急アド・エージェンシー	2017年3月15日号	助成先レポート、活動紹介

③その他啓発事業

A. 情報発信事業

a. ホームページ・ブログ管理

協会のホームページとブログを管理運営し、協会の情報発信を行った。

- 協会ホームページ <http://www.cliniclowns.jp/>
- ブログ(48記事掲載) <http://blog.canpan.info/rinshodoukeshi/>



b. ニュースレターの発行

当協会の会員や支援団体、助成団体・企業、訪問病院などにニュースレターを発行。

	名称	発行日	部数
1	クリニクラウンVol. 16	2017年1月	1,000部

c. 協会資料の作成(クリニクラウンガイドブック・リーフレット)

企業や団体からの協力をいただき、協会資料を作成し、配布した。

	発行	部数
リーフレット	2016年7月	2,000部
リーフレット	2016年7月	6,000部
リーフレット	2017年1月	2,000部

d. 写真パネル展示の実施

クリニクラウンの活動を広く啓発するために、活動の様子を紹介する写真展示は今年度実施せず。

B. 企業・団体との協力事業

a. 未来への手紙プロジェクト(公益社団法人 日本フィランソロピー協会)

2011年7月にスタートした、赤ちゃんが生まれた喜びを手紙に残すという「未来への手紙プロジェクト ～生まれてくる君へ、育ちゆくあなたへ～」の共催団体としてホームページ・ブログなどで紹介するなど、2016年度も広報活動の協力を行った。



未来への手紙プロジェクトとは

主催:公益社団法人 日本フィランソロピー協会

共催:毎日新聞社/特定非営利活動法人 日本クリニックラウン協会

子どもの誕生に関わる家族の物語や名前の由来などを、家族が手紙に書き、未来に残そうという企画。手紙の投稿は、下記の日本フィランソロピー協会 HPなどで受付。投稿された手紙は毎日新聞で紹介されるほか、「TOKYO FM」と「FM大阪」のラジオ番組「君が生まれたあの日」で、この運動のきっかけとなった歌「君が生まれたあの日」の作者で歌手の加藤登紀子さんに朗読される。

b. Orgabits クリニクラウンプロジェクト(チーム・オーガビッツ)

●Orgabits×クリニクラウンプロジェクト

オーガニック Cottonのメーカーであり、オーガニック Cottonを通して地球に”ちょっと良いこと”を行うブランド「Orgabits(オーガビッツ)」(豊島株式会社)との「Orgabits×クリニクラウンプロジェクト」が2012年度よりスタート。2016年度も新たなブランドが参加している。このプロジェクトのタグがついている商品を購入いただくと、1枚につき10円を当協会に寄付いただき、クリニクラウンの活動を応援するというプロジェクトである。

c. 社会貢献預金「すまいる」(近畿ろうきん)

近畿労働金庫より定期預金の金利の一部を寄付にあてる「社会貢献預金・すまいる」が2012年10月より開始され、2016年度も継続している。

「社会貢献預金・すまいる」とは

講座開設時に①エコ推進②災害復興支援③子どもたちの未来応援④国際協力、4つのコースから1つを選ぶ。定期預金の利率を下げ、その下げた分額を自分の選択する寄付団体への寄付とする。定期預金の店頭表示金利より0.05%引き下げた預金利率を適用し、毎年3月末の預入残高の「0.1%」を寄付額の総額とし、<ろうきん>から寄付される仕組みになっている。



d. チャリティーネットワーク H₂O サンタ(H₂O リレーリンググループ)

(イ) H₂O サンタチャリティーガイドコーナー

阪急うめだ本店の9階祝祭広場、12階レストランフロアの2か所で、活動を紹介いただいた。

(ロ) H₂O サンタNPOフェスティバル(年1回)

H₂O サンタNPOフェスティバルとは、H₂O サンタが応援しているNPOが祝祭広場でブースを作り、団体の紹介やH₂Oからの支援でどのような活動を行ったかの紹介を行った。

<第4回NPOフェスティバル>

協会ブース設置期間:2016年8月20日(土)～8月21日(月)

場所:阪急百貨店うめだ本店 9階祝祭広場

●第4回NPOフェスティバル 活動紹介スケジュール

日程	PRタイム
8月20日(土)	14時～14時30分
8月21日(日)	17時～17時30分
8月22日(月)	16時～16時30分



e. Give One (公益財団法人 パブリックリソース財団)

オンライン寄付サイト「Give One」にて当協会の活動を紹介し、主に、遠隔地の病院に対してデモン
ストレーション訪問費用についての寄付金を募集している。

また、「ささえあい」QUO カードの寄付先団体として応援いただいている。

期間	2016年4月～2017年3月
----	-----------------

Give One とは、

クレジットカードとネット銀行で寄付ができる、オンライン寄付サイトです。

独自の審査を経た、信頼できる団体、プロジェクトを紹介しています。

運営：公益財団法人 パブリックリソース財団

<http://www.giveone.net/cp/pg/TopPage.aspx>



社会貢献 QUO カード ささえあいとは

カードを購入した方が支援したいと感じた寄付先を指定することができる新しい形の社会貢献プリペイドカードです。「公益財団法人パブリック財団」を通じて本カードの収益の一部が(株)クオカードさまよりご寄附されます。 <http://www.quocard.com/special/donation/clown.html>

(4)その他第3条の目的を達するために必要な事業

事業の実施はありません。

2.その他の事業

(1)文化芸術コンサート、観劇会、イベントの開催

事業の実施はありません。

Ⅲ. 社員総会の開催

1. 2016年度 第1回理事会

- (1) 日時 2016年5月14日(土) 13時～14時30分
- (2) 場所 日本クリニックラウン協会事務局
- (3) 議題
 - 第1号議案 2015年度事業報告書、決算書承認の件
 - 第2号議案 2016年度事業計画承認の件
 - 第3号議案 2016年度活動予算承認の件

2. 第11回通常総会

- (1) 日時 2016年5月14日(土) 14時30分～16時
- (2) 場所 日本クリニックラウン協会事務局
- (3) 議題
 - 第1号議案 2015年度事業報告書、決算書承認の件
 - 第2号議案 2016年度事業計画承認の件
 - 第3号議案 2016年度活動予算承認の件

3. 2016年度 臨時総会

- (1) 日時 2016年9月14日(水) 13時～13時30分
- (2) 場所 日本クリニックラウン協会事務局
- (3) 議題
 - 第1号議案 特定資産計上の件

4. 2016年度 臨時総会

- (1) 日時 2016年12月27日(火) 13時30分～15時
- (2) 場所 日本クリニックラウン協会事務局
- (3) 議題
 - 第1号議案 定款の変更の件(定款に定める会員の規定の見直し)

5. 2016年度 第2回理事会

- (1) 日時 2017年3月31日(金) 16時～17時
- (2) 場所 日本クリニックラウン協会事務局
- (3) 議題
 - 第1号議案 2017年度事業計画承認の件
 - 第2号議案 2017年度活動予算承認の件